

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	フレスポ福知山	階数	地上2F
建設地	京都府福知山市	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	300 人
気候区分	地域区分Ⅲ	年間使用時間	4,380 時間/年
建物用途	物販店	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2009年11月 予定	評価の実施日	2009年2月9日
敷地面積	10,110 m ²	作成者	大和リース株式会社京都支店
建築面積	3,455 m ²	確認日	2010年2月9日
延床面積	6,429 m ²	確認者	大和リース株式会社京都支店



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.0

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合	外皮に断熱材を使用、屋上緑化、さらにはビル用マルチアクションの使用などにより、良好な室内環境を目指した。また、燃焼機器を使用しない、適切な量の駐車・駐輪スペースを設けることによって室外環境への影響を配慮した。	その他 0
Q1 室内環境	外皮に断熱材を使用し室内への熱の侵入に対して配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地の植栽条件に応じた適切な緑地作りを行っている。また屋上緑化をすることによって緑の量を確保している。
LR1 エネルギー	外皮に断熱材を使用し熱負荷の低減を図った。	LR3 敷地外環境 燃焼機器を使用しておらず敷地内から大気汚染物質を全く発生しない。適切な駐車スペース、駐輪スペースを設け、さらには荷捌き用駐車スペースも設けている。
Q2 サービス性能	外壁にタイル、内壁に無機質カス貼りなどの耐用年数の長い材料を使用した。	
LR2 資源・マテリアル	敷地内の道路及び駐車場に再生クラッシュランを使用した。また、ハロゲン系消火剤を一切使用していない。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい